

# 水道事業と環境保全について、みんなでたのしく考えましょう！

## 水道☆環境フェスタ in Yonago

6月10日(日)午前10時から水道局初の取り組みとなる水道週間イベントを開催しました。「安心・安全な水道を安定して供給できるのは大山や日野川流域など豊かな自然環境のおかげ。この恵まれた環境を守り、次の世代に伝えていくため環境保全に取り組む水道局をPRしよう」というコンセプトで企画したこのイベント、初開催にもかかわらず大人141人、子供240人の計381人ものお客さまにお越しいただく大盛況となりました。心配された空模様も、ぱらぱら程度の雨で済んだ梅雨空の半日をダイジェストでご紹介します。

パイロットマン(江府町)



バック☆マン  
(米子市水道局)

ほくたち「日野川源流大使」の仲間  
日南町・オッサン・シヨウオは他イベント  
参加で残念、次回はコラボしようぜ！

### ☆鮎待ち人のフレッシュのなか管理者あいさつ



9時30分頃から続々と親子連れのコルマが駐車場にイン！事務局予想を大幅に上回る人出で駐車場も満車状態。皆さんの目的は「鮎つかみどり！」大勢の親子の熱い視線がそそがれる仮設プール。周囲はギッシリと人だかり、放流を待ちわびる熱気がピンピンに伝わるなか、細川管理者あいさつでスタート！みなさんの「早く獲りたい！」オーラに掻き消されつつ終了。

続いてつかみどり担当から注意事項を説明、お子さま限定でひとり5匹まででお願いします！と重ねて強調したものの...

### 鮎つかみどり班、壮絶バトル！カオス状態のあゆプール

スタートと同時に狩猟本能むき出しでヒートアップするお客さま達。動きの速い鮎に挑む姿は逞しく、次々と要領よくゲットできる子もいれば一匹も獲れない子もいるなか仮設プールは子供たちの歓声と熱気に包みこまれました。

予想を上回る人出に用意した鮎はみるみる減り、開始から15分程度で完売となってしまいました。後からお越しのお客さまには「もうなくなりました」とお詫びする状態になってしまい、改めてつかみどり効果を実感しました。



### ☆配管修繕班、迫力の実演！タイミングが今後の課題か？



鮎が完売すると一気に帰りはじめるお客さまの動きを見て10:30予定の配管修繕の実演を繰り上げて実施しました。給水課ベテラン職員が雨合羽を着込んで緊急修繕を実演するなか、作業手順や内容を実況解説しました。屋根より高く上がった漏水の水しぶきに会場からは歓声があがり、止水が完了すると拍手をいただきました。災害対応関連のパネル展示や、背負って運べる6L飲料水袋に給水車から応急給水するデモを行ったところ約60人にご参加いただき、関心の高さがうかがえました。数年前の凍結災害の体験に基づくご質問もいただいたので、日本水道協会の協定など災害に備え万全の供給体制がとれるよう努めていることをご説明しました。

やはりパネル展示に関心をお持ちいただけるお客さまは少なく、目玉企画の「鮎つかみどり」が終わると一気に客足が引ける現実と直面し、各コーナーの開始時間を調整し、お客さまの関心を引き付け続ける工夫がもっと必要だったと反省しています。一方で、雑誌ラズダを見て遠路松江からお越しいただいたご家族や、市報を見て9時過ぎから来られた年配の方など、関心をお持ちいただけただお客さまにもお会いできました。

## ☆ゆるキャラ班も大活躍、お子さま達は大はしゃぎ！



水道局イメージキャラクターのパッキン☆マン(左)を担当する「ゆるキャラ班」。職員3人が交替でエア着ぐるみを操演し、お子さま達をお出迎えしました。周囲にはお子さま達が群がり大はしゃぎ！しっかり会場を盛り上げました。また、日野川源流大使つながりで江府町役場から出張いただいたパイロットマン(右)も「中の人」のパフォーマンスが炸裂し、お子さまのハートをワシづかみに！もう一人の日野川源流大使、日南町オッサンショウオは、他イベントとブッキングで残念ながら今回はコラボできませんでしたが、次回はぜひ一緒に盛り上げましょう！

## 実験教室班、定員超の大盛況！

水質管理課監修の小学校中・高学年向け企画として「なっとく！水の実験教室」を1F食堂で開催しました。

親子20組を想定して準備したところ、整理券は全てなくなり、見学希望者が外の廊下まで一杯になる大盛況となりました。白衣を着た水質担当職員が水道はかせを好演、ミネラルウォーターの飲み比べや試薬を使った実験などをレクチュアしました。夏休みの自由研究の参考になれば幸いです。1時間少々の短い時間でしたが、好奇心に溢れるお子さん達の熱い眼差しに触れることができ、学ぶことの楽しさを少しでもお伝えできたとすればこれほど嬉しいことはありません。参加者アンケートでもご好評をいただいたこの教室、米子水道がおいしいヒミツを科学的手法で楽しくPRできるよう、今後の展開につなげていきたいと思ひます。



## 日野川の源流と流域を守る会のご協力で環境保全をPR！



玄関付近に設置したパネル展示コーナーでは、水道局が日南町新屋地内に保有する約177haの「水源涵養林」や、「日野川流域憲章」のパネル紹介と共に、国土交通省日野川河川事務所さんからお借りした日野川に生息する生物などのパネル展示を行いました。また、守る会事務局鳥取県西部総合事務所日野振興センターさんから職員2名に参加いただき、ご来場いただいた皆さんに資料やバッチなどを配布して環境保全啓発をPRしました。なお、今回のイベント開催に際し、守る会の「森と水に親しむ活動支援事業」の助成金交付決定をいただきましたことを、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

## 未来へつなごう！環境保全の取り組み

平成20年8月の「日野川流域憲章」制定から早くも10年が経ち当時憲章制定を提唱した米子市水道局では、10周年の節目を記念し、毎年6月の第1週に全国一斉に実施される「水道週間」に協賛し今回のイベントを企画しました。環境保全のメッセージを将来にわたって発信し続けるため、庁舎東側に高さ10mの懸垂幕を掲示しました。

日野川土手の県道を通行される際にご覧いただけますと幸いです。

今回のイベントでは鮎を安価で提供いただいた日野川水系漁協さんをはじめ大山山麓や日野川流域諸団体に大変お世話になりました。今後とも地域連携を拡げ、環境保全の取り組みを進めなければならないと強く感じた1日となりました。今後とも、米子市水道事業にご理解とご協力を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

発行：米子市水道局 計画課 企画広報係 ☎32-6112

